

小規模事業者持続化補助金を活用して

# 「直島産ヒラメ」を召し上げれ! なおしまでの食・泊・楽

当社は、全国でまだあまり普及していない紫外線殺菌した海水を使用して養殖ヒラメを生産しています。直島の玄関口、宮浦港の正面に位置する自社レストラン「ゆうなぎ」では、安心・安全・美味を信条に、ヒラメ刺身定食、ヒラメ唐揚げ定食、ヒラメ煮付け定食などを提供しています。ヒラメを自社生産することによって、6次産業化、地産地消を実践し、未だ高級魚感のあるヒラメを安価で供給することに成功しています。

平成28年に小規模事業者持続化補助金に応募し、商工会の支援を得て、自社のホームページ及び看板を制作しました。ホームページ

ページにヒラメ定食を食べたお客様から感想が寄せられました。「ヒラメは大きめの頭側半分が唐揚げになっ

ています。衣は想像していたより少し厚めだけど、食感がいいので気になりません。骨まで全部というわけにはいきませんが、頭をガジカジかじるのは楽しいし美味しい。お店の名物になっ

て、アートだけじゃない直島を堪能していただければ幸いです。

ているのも分かるような気がします。島の名物になるかも。友達と、直島の宮浦港近くで複数軒巡ってみましたが、私たちの一番人気はこちら

のお店のヒラメ唐揚げ定食でした。私たちはオススメします!

今後は、テイクアウト用に開発中のヒラメ弁当を、商工会の支援を得て販売に力を注いでいく予定です。

**【直島のご紹介】** 直島は瀬戸内海に浮かぶ人口3,100人程の小さな島です。「直島」という地名は保元の乱で敗れた崇徳上皇が讃岐へ配流される途中、この島に立ち寄られたとき、島民の純真素朴さを賞して命名されたと伝えられています。

徳川時代には、幕府の天領となり、瀬戸内海の海上交通の要衝を占め、海運業や製塩業の島として栄えました。大正6年になると三菱鉱業、現在の三菱マテリアル直島製錬所が設立され以来、島は飛躍的な発展を遂げました。さらに、平成元年には福武書店、現株式会社 ベネッセホールディングスが直島文化村構想の一環として国際キャンプ場をオープン、その後2005年に安藤忠雄氏設計の地中美術館がオープンし、昨年は3回目となる瀬戸内国際芸術祭 2016が、108日間開催され、直島にも265,403人が訪れました。いまやアートの島として国内のみならず海外からも注目されています。



人気メニュー ヒラメの唐揚げ定食

株式会社 八光 直島町商工会

## 店舗情報

ゆうなぎ  
株式会社 八光

住所：香川県香川郡直島町 2249-5

電話：087-892-2924

<http://yuunagi.biz/index.html>

